

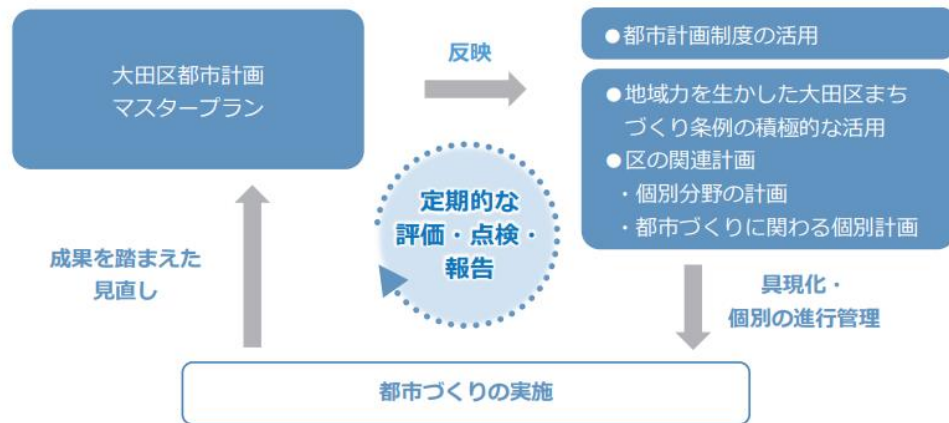
# 大田区都市計画マスタープラン 進行管理方法（案）について

## I 基本的な考え方

### 1. 基本的事項

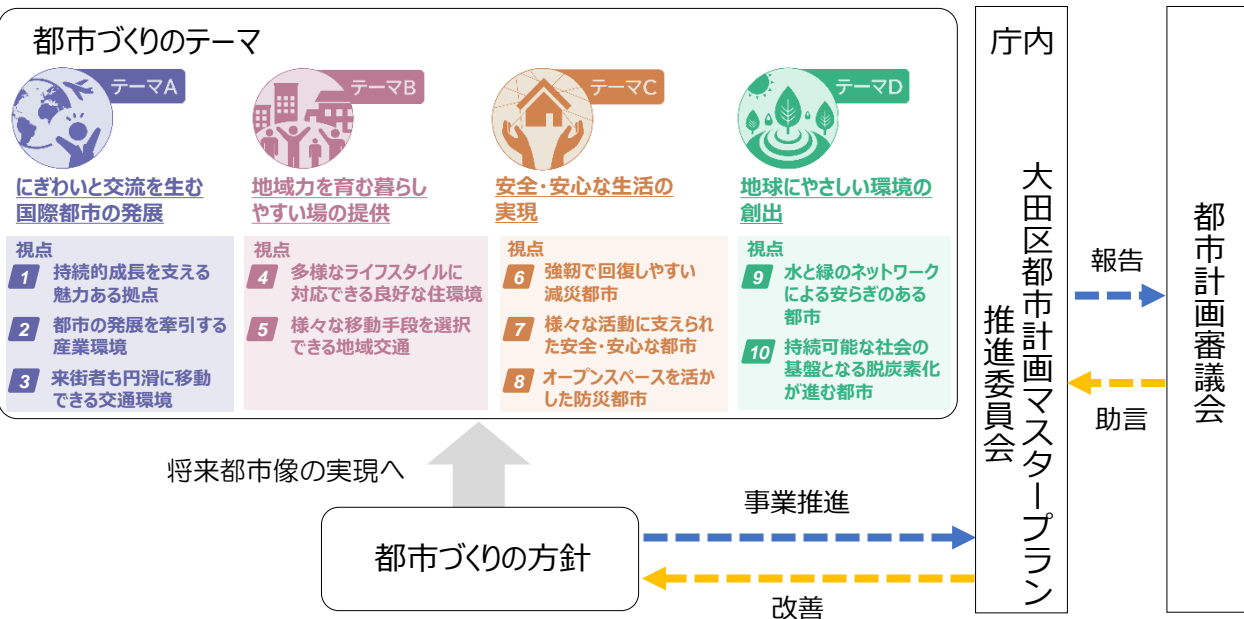
（都市マス第2部 P.84）

- ◆都市計画マスタープランの**目標年次は概ね20年後**と長期に渡ることから、将来都市像の実現に向け適切な進行管理を行う
- ◆統計データや区民アンケート、**関連計画の指標などを活用**
- ◆指標などの設定については、第4章部門別方針の関連表（第1部 P.102）における**テーマの実現に主に関わる方針などから整理**を検討
- ◆**SDGsとの連携**についても研究



### 2. 進行管理の体制

- ◆庁内の関係部署で組織する「都市計画マスタープラン推進委員会」を設置（7月～）
- ◆**大田区都市計画審議会への定期的な報告（11月）**
- ◆都市づくりのテーマの実現に向けた事業の進行管理を行う



### 3. 進行管理の方法

- ◆テーマで掲げる**1～10の視点ごとに、都市づくりの進捗状況を見える化**
- ◆都市づくりの方針に紐づく事業について、以下の指標を設定

**アウトプット指標**：事業の実績値（例：助成事案件数、参加者数）  
**アウトカム指標**：事業の効果を測る指標（例：耐震化率、満足度調査）

- ◆指標の相関関係から**都市づくりの課題を分析し、事業の改善や新たな施策の展開**につなげる

【テーマC：視点6の指標設定（例）】

部門別方針の関連表を活用	取組内容・事業	アウトプット(案)	アウトカム(案)
1. 大規模災害に立ち向かう強靱な都市基盤や市街地形成	耐震改修・除却助成制度 耐震コンサルタント派遣	耐震改修・除却助成件数 耐震コンサルタント派遣件数	指標を設定 耐震改修促進計画における「住宅の耐震化率」
③建築物の不燃化・耐震化の促進			

方針に紐づく事業

事業ごとに指標を抽出

SDGsとの連携



「大田区SDGs推進会議」での検討状況を踏まえて検討

(→次頁)

アウトプット・アウトカム  
指標の設定イメージ

### 4. これまでの経過と今後の予定

令和4年3月	大田区都市計画マスタープラン改定
11月	大田区都市計画審議会報告（進行管理方法について）
令和5年1月	大田区都市計画審議会報告（指標の案について）
令和5年度	大田区都市計画審議会報告及び進行管理開始

## Ⅱ アウトプット・アウトカム指標の設定（視点6の設定例）

### 視点6に関わる部門別方針ごとに指標を設定

# 6 強靱で回復しやすい減災都市



※アウトカム指標は複数のアウトプットや社会情勢の変化等が複合的に影響して数値が変動する

部門	部門別方針名	アウトプット指標（案）		アウトカム指標（案）			
		指標名	番号	指標名	番号		
交通	3. 安全・安心に暮らせる交通環境の整備	①生活道路・狭あい道路の整備（第1部P.69）	道路延長	b	無電柱化率	a	
			重点整備路線3路線の拡幅整備用地取得件数、広場用地の取得件数	b			
			狭あい道路の拡幅整備率	b			
			都市防災不燃化促進事業の建替え助成件数	b			
		②無電柱化の推進（第1部P.69）	無電柱化整備延長	a	不燃領域率	b	
		③都市基盤の維持更新（第1部P.70）	橋梁の健全性	e	住宅の耐震化率	c	
防災・復興	1. 大規模災害に立ち向かう強靱な都市基盤や市街地形成	①骨格防災軸などの整備（第1部P.78）	都市防災不燃化促進事業の建替え助成件数	b	アウトカム指標や、指標間の関連性は今後詳細を検討していく	ハザードマップを確認した区民の割合	d
			都市計画道路整備延長、整備率	b			
			特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成件数	b			
			ブロック塀等改修助成件数	c			
			狭あい道路拡幅整備事業助成件数(ブロック塀の撤去)	c			
			生垣造成助成件数(ブロック塀の生垣化)	c			
			無電柱化整備延長	a			
			重点整備路線3路線の拡幅整備用地取得件数、広場用地の取得件数	b			
			散策路の整備延長	b			
			不燃化特区助成件数	b			
			重点整備路線3路線の拡幅整備用地取得件数、広場用地の取得件数	b			
			都市防災不燃化促進事業の建替え助成件数	b			
		②木造住宅密集地域をはじめとした市街地整備・改善（第1部P.79）	耐震改修工事助成件数、除却工事助成件数	c	橋梁長寿命化の進捗率	e	
			耐震コンサルタント派遣件数	c			
			雨水貯留槽設置助成件数(基数)	d			
			雨水浸透施設設置助成件数(基数)	d			
			流域対策（貯留施設、浸透施設の設置）の実施量（呑川流域、丸子川流域）	d			
			がけ等整備工事助成件数	d			
		③建築物の不燃化・耐震化の促進（第1部P.80）	がけ等アドバイザー派遣件数	d	中小企業におけるBCP策定率	f	
			防災アプリの登録者数	d			
			マイ・タイムライン講習会の参加者数	d			
			災害廃棄物仮置場の面積(計画)	g			
			災害廃棄物処理に係る協定締結数	g			
			大田区が管理する防災船着場の整備件数	h			
④風水害・土砂災害に強い市街地の形成（第1部P.80）	舟運事業者との協定数	h	災害廃棄物仮置場の面積(計画)／被害想定での必要面積	g			
	東京都など関係機関との防災船着場を使用した訓練の実施回数	h					
	耐震整備が完了した橋梁数	e					
	区ホームページ「大田区簡易版BCPシート」への閲覧数	f					
	区ホームページ「大田区簡易版BCPシート」における各シート等のダウンロード件数	f					
	大田区が管理する防災船着場の整備件数	h					
2. 災害時の都市機能の早期回復	①橋梁等ライフラインの耐震性の向上（第1部P.81）	耐震整備が完了した橋梁数	e	大田区全域での防災船着場整備率	h		
	②中心拠点や産業集積地域の機能継続・早期復旧（第1部P.81）	区ホームページ「大田区簡易版BCPシート」への閲覧数	f				
		区ホームページ「大田区簡易版BCPシート」における各シート等のダウンロード件数	f				
④災害廃棄物対策（第1部P.81）	災害廃棄物仮置場の面積(計画)	g	災害廃棄物処理に係る協定締結数	g			
	災害廃棄物処理に係る協定締結数	g					
⑤災害時水上輸送ネットワークの向上（第1部P.82）	大田区が管理する防災船着場の整備件数	h	大田区全域での防災船着場整備率	h			
	舟運事業者との協定数	h					
	東京都など関係機関との防災船着場を使用した訓練の実施回数	h					

※ 指標は全て検討中のもの

視点6が主に関わるテーマ「●」について部門別方針ごとに指標を検討

第4章 部門別方針

第4章 部門別方針

テーマと部門の関連表		都市づくりのテーマ									
		A		B		C		D			
		にぎわいと交流を生む国際都市の発展		地域力を育む暮らしやすい場の提供		安全・安心な生活の実現		地球に優しい環境の創出			
部門別方針		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
拠点整備部門	<b>1. 広域拠点域の都市づくり</b>										
	① 4つの広域拠点域の連携 <small>新空港線</small>		○	●							
	② 広域拠点域の拠点性の向上 <small>新空港線</small>	●	○								
	<b>2. 中心拠点の都市づくり</b>										
	① にぎわいあふれる中心拠点の都市づくり <small>新空港線</small>	●	○	○							○
交通部門	<b>3. 生活拠点の都市づくり</b>										
	① 個性が光る生活拠点の都市づくり <small>新空港線</small>	○			●	○					○
	② 観光資源を活用した生活拠点の魅力の向上	●			○						
	<b>4. 地区特性を活かした市街地整備の推進</b>										
	① 地区の生活を支える市街地整備	○			●						○
水と緑部門	② ワークスタイルの変化への対応		○		●						
	③ 公共空間を活用したにぎわいづくり	○			●						
	④ 公有地等の有効活用	○			●						
	<b>5. 環境に配慮した拠点整備</b>										
	① 都市開発の機会を捉えた環境都市づくり <small>新空港線</small>	○									●

テーマと部門の関連表		都市づくりのテーマ									
		A		B		C		D			
		にぎわいと交流を生む国際都市の発展		地域力を育む暮らしやすい場の提供		安全・安心な生活の実現		地球に優しい環境の創出			
部門別方針		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
防災・復興部門	<b>1. 大規模災害に立ち向かう強靱な都市基盤や市街地形成</b>										
	① 骨格防災軸などの整備			○			●		○		
	② 木造住宅密集地域をはじめとした市街地整備・改善	○					●		○		
	③ 建築物の不燃化・耐震化の促進						○				
	④ 風水害・土砂災害に強い市街地の形成	○					○				
住環境部門	<b>2. 災害時の都市機能の早期回復</b>										
	① 橋梁等ライフラインの耐震性の向上			○			●				
	② 中心拠点や産業集積地域の機能継続・早期復旧 <small>新空港線</small>	○	○				●				○
	③ 帰宅困難者対策	○					○		●		
	④ 災害廃棄物対策						○				
産業部門	⑤ 災害時水上輸送ネットワークの向上					○			●		
	<b>3. 地域防災力の向上</b>										
	① 地域防災活動の支援				○			●			
	② 避難場所・避難所の拡充と分散避難対策					○			○	●	
	<b>4. 事前復興都市づくりの推進</b>										

テーマを構成する視点

- 都市づくりのテーマを構成する視点 (P.36 参照)
- A1. 持続的成長を支える魅力ある拠点
  - A2. 都市の発展を牽引する産業環境
  - A3. 来街者も円滑に移動できる交通環境
  - B4. 多様なライフスタイルに対応できる良好な住環境
  - B5. 様々な移動手段を選択できる地域交通
  - C6. 強靱で回復しやすい防災都市
  - C7. 様々な活動を支える安全・安心な都市
  - C8. オープンスペースを活かした防災都市
  - D9. 水と緑のネットワークによる安らぎのある都市
  - D10. 持続可能な社会の基盤となる脱炭素化が進む都市
- : 主に関わるテーマ  
○: 関連するテーマ  
新空港線: 新空港線整備と沿線都市づくりに関連する方針